探究計画書(1/3)

| 1. 研究テーマ(分野:) | |
|--|--|
| | |
| | |
| 2. グループのリサーチクエスチョンと仮説をまとめよう。◇研究テーマに対して「問い」を立てよう | |
| クエスチョンマッピング(p.47 参照) | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| リサーチクエスチョンの候補 | |
| | |
| | |

◇問いの検証 (pp.50-57 参照)

| どの地域の課題か? | |
|--|----------|
| どのような人々(組織)の課題か? | |
| いつの課題か?(具体的に) | |
| どのような問題が生じているか? | |
| 関連する学術分野は? | |
| 見通しが立ち、調査できそうか? | |
| 過去にどのような取り組みや研究 がなされて、どのようなことが分かっているか? | |
| 過去の取り組みや研究で解決でき ていないことは何か? | |
| この研究を行うことで、社会や自分 たちにどのような貢献が見込める か? | |
| ◇検証を踏まえたグループのリサー | -チクエスチョン |
| ◇チェックリスト □リサーチクエスチョンに用いられている言葉の意味や定義を理解しているか。 □マジックワード (p.32) の言い換えができているか。 □ある問いの答えに対して新たに問いを立てることで、問いを発展させられているか。 □先行研究や事例から、そのリサーチクエスチョンに取り組む意義を見出せているか。 □「いつ?」「どこ?」「だれ?」など、多面的に検証してリサーチクエスチョンを具体化できているか。 □関連する学術分野は何か。 □答えがすぐに見つかるリサーチクエスチョンになっていないか。(現状の調べ学習で終わらないか) □研究を進めるために何が必要か。それらは準備可能か。 □取り組みが可能なリサーチクエスチョンか。 | |

()班 学籍番号()名前(

)